

データヘルス計画

第2期計画書

最終更新日：平成 30 年 10 月 01 日

麻生健康保険組合

STEP 1 - 1 基本情報

組合コード	90067
組合名称	麻生健康保険組合
形態	単一
業種	その他の製造業

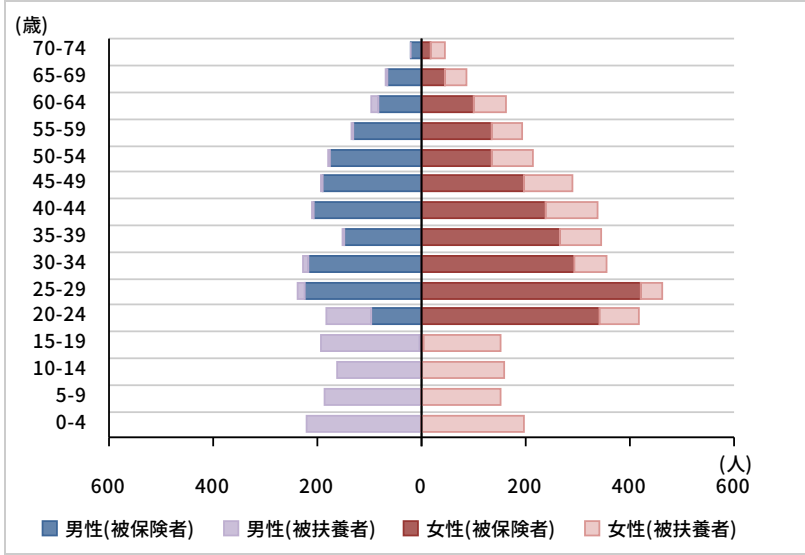
	平成30年度見込み	令和元年度見込み	令和2年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保険者を除く	3,749名 男性42% (平均年齢42歳) * 女性58% (平均年齢38歳) *	3,782名 男性42% (平均年齢42歳) * 女性58% (平均年齢37歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *
特例退職被保険者数	0名	0名	-名
加入者数	6,027名	6,069名	-名
適用事業所数	16カ所	15カ所	-カ所
対象となる拠点数	16カ所	15カ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	84% ₀₀	84% ₀₀	-% ₀₀

		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		平成30年度見込み		令和元年度見込み		令和2年度見込み	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	0	0	0	0	-	-
	保健師等	0	0	0	0	-	-
事業主	産業医	1	0	1	0	-	-
	保健師等	1	0	0	0	-	-

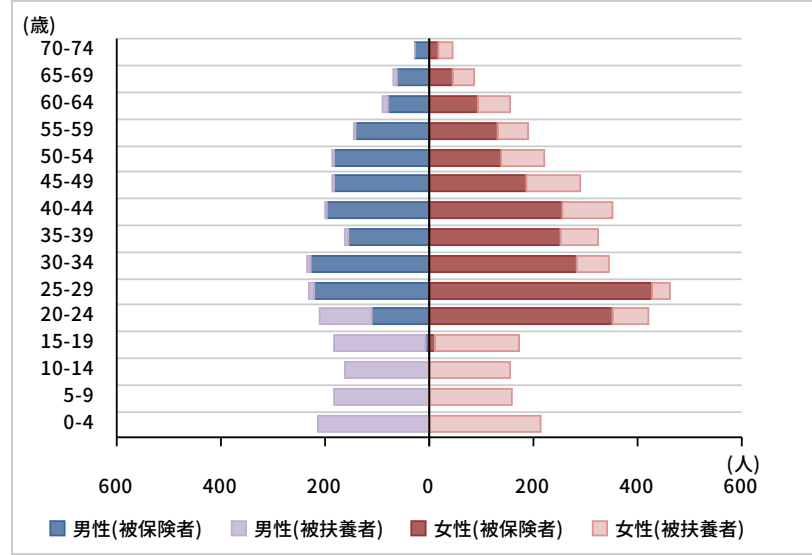
		第2期における基礎数値	
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数 ÷ 特定健康診査対象者数)	全体	1,575 / 2,032 = 77.5 %	
	被保険者	1,403 / 1,544 = 90.9 %	
	被扶養者	172 / 488 = 35.2 %	
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数 ÷ 特定保健指導対象者数)	全体	46 / 307 = 15.0 %	
	被保険者	46 / 307 = 15.0 %	
	被扶養者	- / - = - %	

		平成30年度見込み		令和元年度見込み		令和2年度見込み	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	1,733	462	1,161	307	-	-
	特定保健指導事業費	2,260	603	3,696	977	-	-
	保健指導宣伝費	5,666	1,511	6,252	1,653	-	-
	疾病予防費	58,225	15,531	49,812	13,171	-	-
	体育奨励費	6,000	1,600	6,000	1,586	-	-
	直営保養所費	8,000	2,134	8,024	2,122	-	-
	その他	0	0	1	0	-	-
	小計 …a	81,884	21,842	74,946	19,816	0	-
経常支出合計 …b	1,722	459	1,654,061	437,351	-	-	
a/b×100 (%)	4,755.17		4.53		-		

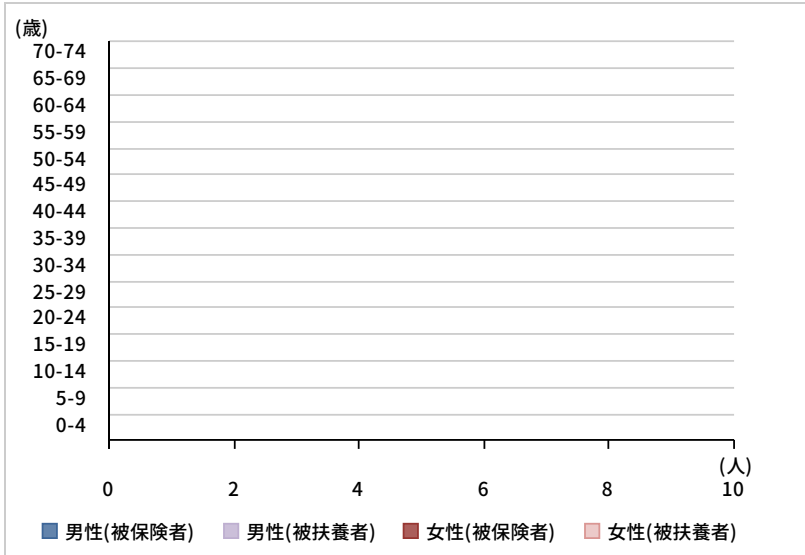
平成30年度見込み



令和元年度見込み



令和2年度見込み



男性（被保険者）

平成30年度見込み				令和元年度見込み				令和2年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	3人	10～14	0人	15～19	7人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	98人	25～29	225人	20～24	112人	25～29	219人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	218人	35～39	149人	30～34	229人	35～39	155人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	206人	45～49	189人	40～44	198人	45～49	184人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	175人	55～59	130人	50～54	182人	55～59	143人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	83人	65～69	67人	60～64	79人	65～69	62人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	21人			70～74	27人			70～74	-人		

女性（被保険者）

平成30年度見込み				令和元年度見込み				令和2年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	5人	10～14	0人	15～19	9人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	340人	25～29	421人	20～24	351人	25～29	428人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	292人	35～39	265人	30～34	282人	35～39	252人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	237人	45～49	197人	40～44	255人	45～49	187人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	134人	55～59	133人	50～54	137人	55～59	130人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	99人	65～69	44人	60～64	92人	65～69	46人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	18人			70～74	16人			70～74	-人		

男性（被扶養者）

平成30年度見込み				令和元年度見込み				令和2年度見込み			
0～4	219人	5～9	187人	0～4	214人	5～9	182人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	162人	15～19	188人	10～14	163人	15～19	177人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	87人	25～29	13人	20～24	100人	25～29	10人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	9人	35～39	5人	30～34	6人	35～39	7人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	5人	45～49	4人	40～44	5人	45～49	2人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	2人	55～59	3人	50～54	2人	55～59	3人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	14人	65～69	4人	60～64	11人	65～69	7人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	1人			70～74	1人			70～74	-人		

女性（被扶養者）

平成30年度見込み				令和元年度見込み				令和2年度見込み			
0～4	196人	5～9	152人	0～4	215人	5～9	159人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	160人	15～19	149人	10～14	155人	15～19	162人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	77人	25～29	40人	20～24	68人	25～29	36人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	62人	35～39	81人	30～34	62人	35～39	74人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	99人	45～49	92人	40～44	95人	45～49	102人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	78人	55～59	60人	50～54	82人	55～59	58人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	61人	65～69	41人	60～64	61人	65～69	41人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	27人			70～74	27人			70～74	-人		

基本情報から見える特徴

（概要）

加入者全体の平均年齢は【39.5歳】ですが、加入者数の最も多い年齢層は【25-29歳】となっています。
 加入者男女比率は【42%】対【58%】と女性比率が高くなっています。
 事業所別の人数構成では、「飯塚病院」の加入者が【3,501名】と最も多く、全体の【58%】を占めています。
 【20-39歳女性】の加入者が相対的に多いため、同対象に向けた健康対策の実施が課題と考えられます。
 100名未満の事業所が【4箇所】あります。小規模事業所や遠隔地向けの健康対策も、今後の課題と考えられます。

STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

保健事業の整理から見える特徴

- ・事業主との連携による健康づくり
- ・保健事業内容全般の早期見直し
- ・特定健康診査・特定保健指導の受診率が低い

事業の一覧

職場環境の整備

加入者への意識づけ

保健指導宣伝	ホームページ
保健指導宣伝	リーフレット等の配布

個別の事業

特定健康診査事業	特定健康診査（被扶養者）
特定保健指導事業	特定保健指導
特定保健指導事業	重症化予防
疾病予防	人間ドック
疾病予防	乳がん健診
疾病予防	インフルエンザ予防接種
疾病予防	高齢者医療費適正化事業
疾病予防	家庭用常備薬斡旋
疾病予防	歯の健康対策
体育奨励	体力づくり奨励費
直営保養所	直営保養所の運営

事業主の取組

1	定期健康診断
2	メンタルヘルス教育
3	健康関連セミナー

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1)事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			注2)評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
職場環境の整備													
加入者への意識づけ													
保健指導宣伝	2	ホームページ	【目的】 ・健保情報等の発信 【概要】 ・健保情報の提供	被保険者被扶養者	全て	男女	0～74	全員	200	・各種健保手続き、健康保険の仕組み等を掲載	・情報掲載および周知	・Web環境未利用者への対応	3
	2,5	リーフレット等の配布	【目的】 ・情報発信 【概要】 ・法改正等情報提供	被保険者被扶養者	全て	男女	18～74	全員	2,344	<配布先> ・健康保険情報冊子：新規加入者 ・健保連等の情報誌：各事業所 ・育児情報誌：出産費用受給者 ・医療費通知	・育児情報誌は初めての出産経験者には好評	-	2
個別の事業													
特定健康診査事業	3	特定健康診査(被扶養者)	【目的】 ・特定健診の実施率向上 ・加入者の健康状態の把握 【概要】 ・受診案内の配布	被扶養者	全て	男女	40～74	基準該当者	1,632	<被扶養者> 受診者154名/対象者460名(受診率33.5%)	・特定健診に係る費用は健保で全額補助	・被扶養者の受診案内を自宅へ送付することで受診率をアップさせたい。 ・未受診者のフォロー不足	1
	4	特定保健指導	【目的】 ・特定保健指導の実施率の向上 ・生活習慣病の有病者・予備軍の減少 【概要】 ・実施対象は積極的支援のみ	被保険者被扶養者	全て	男女	40～74	基準該当者	1,935	実施者14名/対象者265名(実施率5.3%)	・県外の事業所や出向者がいるため、全国に対応できる委託機関との契約	・ほとんどの対象者が業務優先にされるため、実施率が非常に低い ・保健指導の重要性に対する理解不足	1
	4	重症化予防	重症化予防(人工透析、重症高血圧、重症糖尿病の予防)	被保険者	全て	男女	18～39	基準該当者	640	-	-	-	-
疾病予防	3	人間ドック	【目的】 ・健康維持・増進 ・疾病の早期発見、早期治療 【概要】 ・被保険者、被扶養者(配偶者のみ)を対象に補助	被保険者被扶養者	全て	男女	18～74	全員	16,833	対象：被保険者、被保険者(配偶者のみ)、年齢制限なし	事業主病院での受診が可能	幅広く利用してほしいが、周知不足により受診率が低い	2
	3	乳がん健診	【目的】 ・がんの早期発見、早期治療 【概要】 ・被保険者、被扶養者(配偶者のみ)の女性を対象に補助	被保険者被扶養者	全て	女性	18～74	全員	6,161	対象：被保険者、被保険者(配偶者のみ)、年齢制限なし	・2～3週間かけて検診車内で受診するため、1度に多くの受入が可能 ・早期発見できた事例が多い	・被扶養者(配偶者)への案内は被保険者を經由して行うため、連絡がいかない場合がある	3
	3	インフルエンザ予防接種	【目的】 ・インフルエンザの重症化予防 【概要】 ・被保険者(任継含む)が対象 ・福岡県内4ヶ所で集団接種を実施	被保険者	全て	男女	18～74	全員	5,798	集団接種：3008名 任意機関：84名	・集団接種のため、低コストで実施可能 ・毎年、接種者が増えている	・集団接種のため、決まった接種日に接種できないと補助が受けられない ・近年のワクチン不足のため、予定していた集団接種が人数制限や個別接種になってしまう。	4
	6,7	高齢者医療費適正化事業	【目的】 ・前期高齢者の特定健診受診率向上 ・ジェネリック医薬品の使用率向上 ・前期高齢者納付金の低減 【概要】 ・専門相談員による訪問健康相談	被扶養者	全て	男女	65～74	全員	604	・前期高齢被扶養者が対象	・別居の高齢者は相談員の訪問を喜ばれているようだ	・家族が医療従事者の被扶養者に必要ないと断られるケースもある	2

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
	3	家庭用常備薬斡旋	【目的】 ・市販されていない家庭用常備薬の斡旋 【概要】 ・常備薬を斡旋価格で購入補助 ・1人あたり1回2000円を年1回補助	被保険者	全て	男女	18～74	全員	7,120	・毎年10月に配布 ・2000円を上限に家庭常備薬を補助 ・任継者は健保指定常備薬を配布	・被保険者が希望する常備薬が健保補助により購入可能	・被保険者数の多い事業所は申込取りまとめ、配布作業が困難	2
	3	歯の健康対策	【目的】 ・歯科疾患の早期発見、早期治療 【概要】 ・被保険者へ歯ブラシセット配布 ・被保険者（任継含む）が対象 ・福岡県内3ヶ所でインフルと同日に実施	被保険者	全て	男女	18～74	全員	489	・歯ブラシセット:10月配布 ・被保険者を対象:11月実施	—	・集団健診のため、決まった日に受診しないと補助が受けられない	1
体育奨励	8	体力づくり奨励費	【目的】 ・運動習慣の定着 【概要】 ・事業主が主催する体育行事で被保険者を対象に補助	被保険者	全て	男女	18～74	全員	3,258	補助申請者数 1629名（申請率54.3%）	—	周知不足により計画が発生していない	1
直営保養所	8	直営保養所の運営	【目的】 ・加入者の福利厚生 【概要】 ・1泊2日利用料：加入者1000円、その他2000円 ・食事代（夕・朝）：2500円/名	被保険者被扶養者	全て	男女	0～74	全員	7,753	H26年度より運営委託	—	施設老朽化、利便性	2

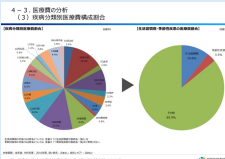
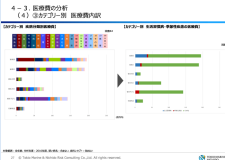
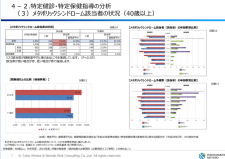

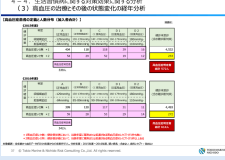

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 訪問指導 8. その他

注2) 1. 39%以下 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%

事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
事業主の取組								
定期健康診断	労働安全衛生法に基づき実施	被保険者	男女	18 ～ 74	年1回実施	未受診者は個別に契約医療機関で受診 出向者は其々任意の医療機関にて実施	多忙な部門は受診の催促が必要	無
メンタルヘルス教育	一般職、管理職別にセルフケア・ラインケアの研修を実施	被保険者	男女	18 ～ 65	・一般職、管理職研修：1年交代で実施 ・ストレス診断チェック：毎年実施	所属長が自部門のストレス状況を把握	個人を特定できない結果となっているため具体的な対処がしづらい	無
健康関連セミナー	従業員の健康意識の向上	被保険者	男女	18 ～ 65	外部講師による全員参加のセミナー	—	—	無

STEP1-3 基本分析

登録済みファイル一覧

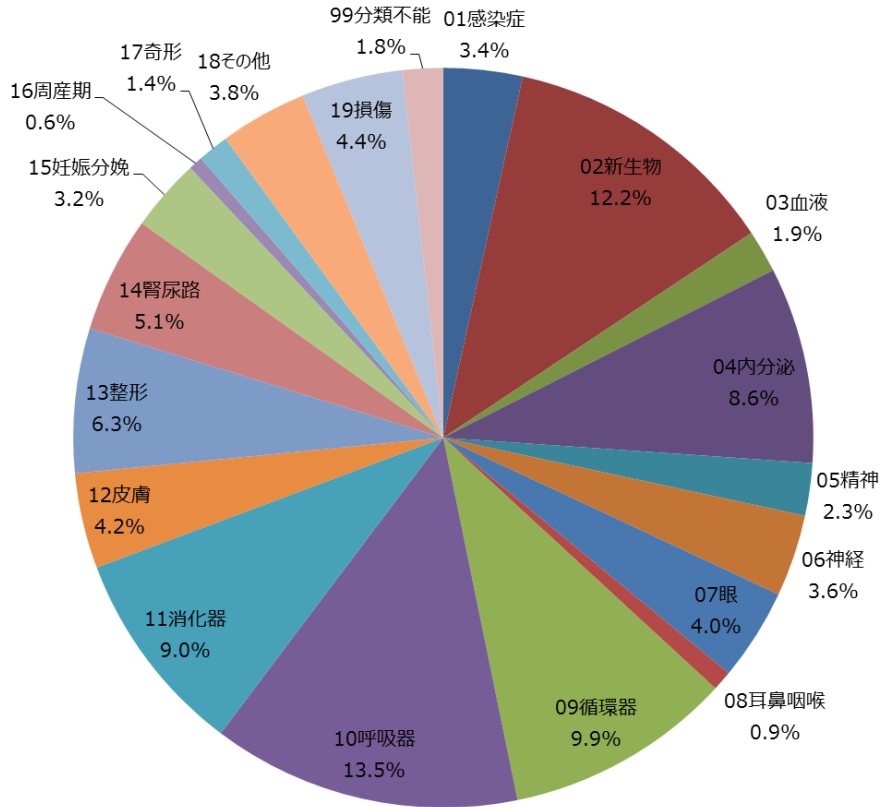
記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		医療費分析 疾病分類別医療費構成割合	医療費・患者数分析	生活習慣病関連の医療費が全体の10.6%を占める。 新生物の医療費が全体の12.2%を占める。 精神に関する医療費が2.3%を占める。
イ		医療費の分析 医療費の内訳	医療費・患者数分析	被保険者男性の占める割合が58.6%が最も大きい。
ウ		特定健診の分析 メタボリックシンドローム該当者の状況	特定健診分析	メタボリックシンドロームに該当するものが多い(該当率15.6%)
エ		特定健診の分析 健康検査値の状況	特定健診分析	血圧、血糖のリスク該当者が多い。
オ		生活習慣病に関する対策効果に関する分析 高血圧の治療とその後の状態変化の経年分析	特定健診分析	高血圧症の未受療者が多い。
カ		健康起因の企業リスクについて 季節性疾患	医療費・患者数分析	インフルエンザに関しては、家族が罹患したケースで本人罹患率も極端に高くなるため、被扶養者も巻き込んだ感染防止策が求められる。 季節性疾患の医療費が全体の【3.5%】(除く歯科)を占める。 インフルエンザの被保険者の罹患率が6%を超えている。

4 - 3. 医療費の分析

(3) 疾病分類別医療費構成割合

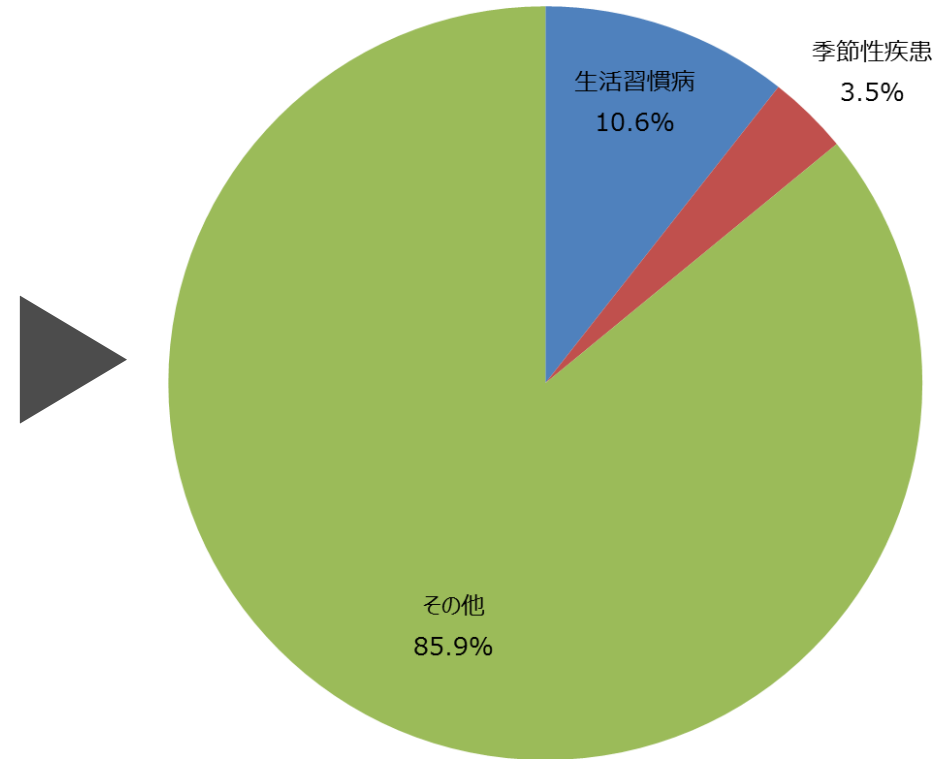
【疾病分類別医療費割合】

図表58



【生活習慣病・季節性疾患の医療費割合】

図表59



生活習慣病の対象となる病名については、定義05「生活習慣病対象病名一覧①」を
 季節性疾患の対象となる病名については、定義07「季節性疾患対象病名一覧」をご参照ください。

対象範囲：全年齢、分析年度：2016年度、疑い病名：含まない、歯科レセプト：含まない

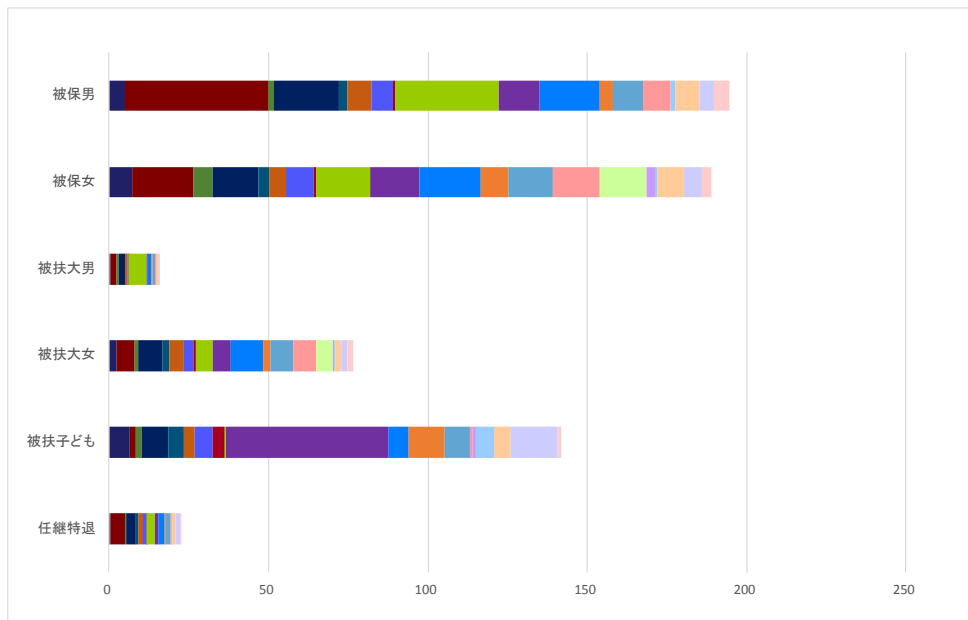
4 - 3. 医療費の分析

(4) ③カテゴリー別 医療費内訳

【カテゴリー別 疾病分類別医療費】

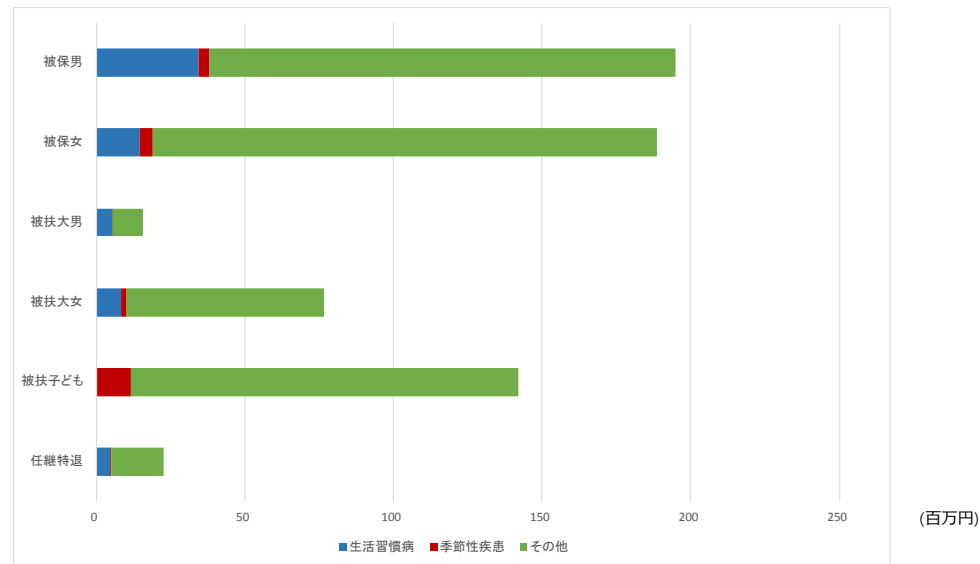
図表63

01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	99
感	新	血	内	精	神	眼	耳	循	呼	消	皮	整	腎	妊	周	奇	そ	損	分
染	生	液	分	神	経	眼	鼻	環	吸	化	膚	形	尿	娠	産	他	傷	類	不
症	物		泌				咽	器	器	管	膚	形	路	分	期	形	他	傷	能



【カテゴリー別 生活習慣病・季節性疾患の医療費】

図表64



(百万円)

(百万円)

対象範囲：全年齢、分析年度：2016年度、疑い病名：含まない、歯科レセプト：含まない

4 - 2 .特定健診・特定保健指導の分析 (3) メタボリックシンドローム該当者の状況 (40歳以上)

【メタボリックシンドローム該当者の状況】

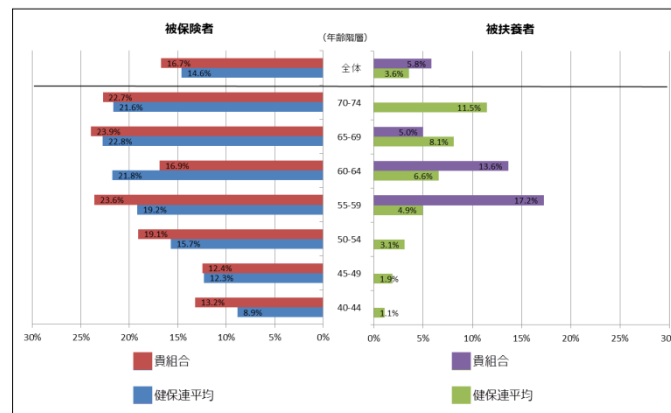
図表14

	評価対象者数	該当者			予備群		
		人数	該当率		人数	該当率	
			健康連平均	健康連平均		健康連平均	健康連平均
全体	1,553	243	15.6%	12.8%	206	13.3%	12.3%
被保険者	1,399	234	16.7%	14.6%	196	14.0%	13.9%
男性	682	188	27.6%	-	149	21.8%	-
女性	717	46	6.4%	-	47	6.6%	-
被扶養者	154	9	5.8%	3.6%	10	6.5%	4.0%

リスク該当率が健康連平均と差のあるところを強調しています。(P<0.05)
該当率が高い場合が赤、低い場合が青で強調します。

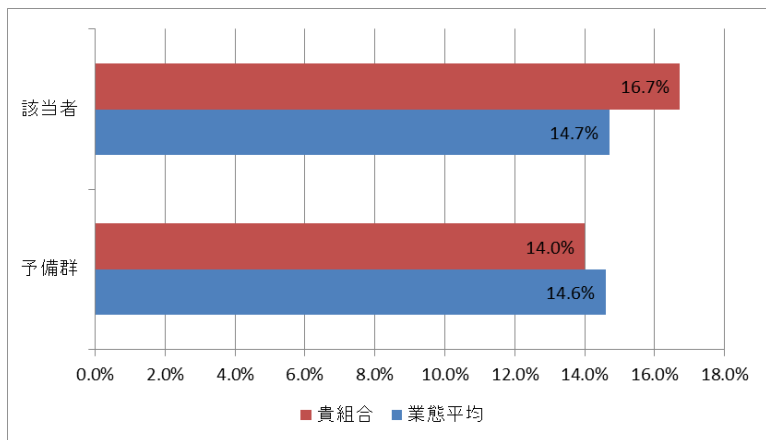
【メタボリックシンドローム該当者(該当率)の年齢群別比較】

図表16



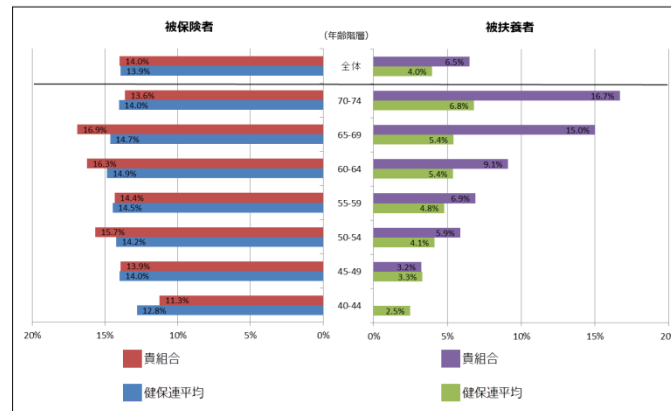
【同業他社との比較(被保険者)】

図表15



【メタボリックシンドローム予備軍(該当率)の年齢群別比較】

図表17



(出典) 業態平均、健康連平均は、健康保険組合連合会「平成26年度特定健診・特定保健指導の実施状況に関する調査分析(平成28年5月)」から弊社作成

本分析ではメタボリックシンドロームの該当状況について、リスクの有無を判定し集計しました。
リスク判定については「定義03「メタボリックシンドローム判定基準」をご参照ください。

対象範囲: 40歳以上、分析年度: 2016年度、評価対象者数: 健診結果の必要項目(必要項目02ご参照)に欠損のない人

4 - 2. 特定健診・特定保健指導の分析

(2) ① 健診検査値の状況 (健診結果有所見率)

図表6

【男女別】

	年齢階層	評価対象者数	肥満		血圧						脂質						血糖						肝機能					
			人数		割合		収縮期血圧		拡張期血圧		中性脂肪		HDL		LDL		空腹時血糖		HbA1c		AST(GOT)		ALT(GPT)		γ-GT(γ-GTP)			
			人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
男性	70-74	15	8	53.3%	13	86.7%	13	86.7%	7	46.7%	9	60.0%	5	33.3%	3	20.0%	4	26.7%	9	60.0%	9	60.0%	3	20.0%	7	46.7%	5	33.3%
	65-69	40	24	60.0%	27	67.5%	26	65.0%	16	40.0%	23	57.5%	13	32.5%	2	5.0%	13	32.5%	31	77.5%	30	75.0%	25	62.5%	17	42.5%	12	30.0%
	60-64	73	45	61.6%	51	69.9%	51	69.9%	34	46.6%	40	54.8%	17	23.3%	5	6.8%	33	45.2%	44	60.3%	42	57.5%	44	60.3%	31	42.5%	5	6.8%
	55-59	96	62	64.6%	61	63.5%	58	60.4%	48	50.0%	77	80.2%	33	34.4%	9	9.4%	59	61.5%	57	59.4%	51	53.1%	57	59.4%	54	56.3%	17	17.7%
	50-54	115	77	67.0%	62	53.9%	55	47.8%	43	37.4%	81	70.4%	36	31.3%	11	9.6%	70	60.9%	64	55.7%	62	53.9%	66	57.4%	60	52.2%	25	21.7%
	45-49	154	89	57.8%	73	47.4%	69	44.8%	54	35.1%	96	62.3%	43	27.9%	14	9.1%	80	51.9%	63	40.9%	60	39.0%	71	46.1%	64	41.6%	15	9.7%
40-44	162	90	55.6%	74	45.7%	70	43.2%	47	29.0%	104	64.2%	56	34.6%	16	9.9%	87	53.7%	55	34.0%	54	33.3%	51	31.5%	76	46.9%	25	15.4%	
合計	655	395	60.3%	361	55.1%	342	52.2%	249	38.0%	430	65.6%	203	31.0%	60	9.2%	346	52.8%	323	49.3%	308	47.0%	322	49.2%	311	47.5%	99	15.1%	
女性	70-74	13	2	15.4%	7	53.8%	7	53.8%	2	15.4%	8	61.5%	0	0.0%	0	0.0%	8	61.5%	5	38.5%	9	69.2%	2	15.4%	1	7.7%	0	0.0%
	65-69	50	15	30.0%	30	60.0%	30	60.0%	9	18.0%	26	52.0%	6	12.0%	0	0.0%	26	52.0%	19	38.0%	18	36.0%	35	70.0%	9	18.0%	5	10.0%
	60-64	107	28	26.2%	57	53.3%	57	53.3%	33	30.8%	70	65.4%	19	17.8%	1	0.9%	66	61.7%	42	39.3%	42	39.3%	84	78.5%	13	12.1%	5	4.7%
	55-59	144	43	29.9%	71	49.3%	65	45.1%	35	24.3%	103	71.5%	27	18.8%	2	1.4%	97	67.4%	49	34.0%	49	34.0%	90	62.5%	28	19.4%	14	9.7%
	50-54	125	27	21.6%	51	40.8%	50	40.0%	25	20.0%	68	54.4%	18	14.4%	1	0.8%	61	48.8%	21	16.8%	20	16.0%	65	52.0%	23	18.4%	10	8.0%
	45-49	191	37	19.4%	54	28.3%	52	27.2%	24	12.6%	83	43.5%	25	13.1%	2	1.0%	70	36.6%	31	16.2%	30	15.7%	80	41.9%	21	11.0%	6	3.1%
40-44	223	46	20.6%	48	21.5%	43	19.3%	29	13.0%	78	35.0%	21	9.4%	5	2.2%	64	28.7%	37	16.6%	36	16.1%	58	26.0%	21	9.4%	8	3.6%	
合計	853	198	23.2%	318	37.3%	304	35.6%	157	18.4%	436	51.1%	116	13.6%	11	1.3%	392	46.0%	204	23.9%	200	23.4%	421	49.4%	117	13.7%	51	6.0%	
総計	1,508	593	39.3%	679	45.0%	646	42.8%	406	26.9%	866	57.4%	319	21.2%	71	4.7%	738	48.9%	527	34.9%	508	33.7%	743	49.3%	428	28.4%	150	9.9%	

図表7

【被保険者・被扶養者別】

	年齢階層	評価対象者数	肥満		血圧						脂質						血糖						肝機能					
			人数		割合		収縮期血圧		拡張期血圧		中性脂肪		HDL		LDL		空腹時血糖		HbA1c		AST(GOT)		ALT(GPT)		γ-GT(γ-GTP)			
			人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
被保険者	70-74	22	9	40.9%	19	86.4%	19	86.4%	8	36.4%	12	54.5%	5	22.7%	3	13.6%	7	31.8%	13	59.1%	13	59.1%	13	59.1%	10	45.5%	4	18.2%
	65-69	70	32	45.7%	49	70.0%	48	68.6%	22	31.4%	39	55.7%	17	24.3%	2	2.9%	29	41.4%	43	61.4%	42	60.0%	47	67.1%	23	32.9%	14	20.0%
	60-64	158	67	42.4%	97	61.4%	97	61.4%	61	38.6%	96	60.8%	31	19.6%	5	3.2%	85	53.8%	77	48.7%	75	47.5%	112	70.9%	42	26.6%	18	11.4%
	55-59	211	93	44.1%	115	54.5%	109	51.7%	73	34.6%	158	74.9%	56	26.5%	10	4.7%	134	63.5%	92	43.6%	86	40.8%	134	63.5%	74	35.1%	28	13.3%
	50-54	223	102	45.7%	107	48.0%	99	44.4%	65	29.1%	139	62.3%	54	24.2%	12	5.4%	121	54.3%	82	36.8%	80	35.9%	125	56.1%	81	36.3%	33	14.8%
	45-49	314	120	38.2%	118	37.6%	112	35.7%	75	23.9%	166	52.9%	66	21.0%	15	4.8%	139	44.3%	89	28.3%	86	27.4%	140	44.6%	81	25.8%	20	6.4%
40-44	356	135	37.9%	119	33.4%	110	30.9%	74	20.8%	173	48.6%	77	21.6%	21	5.9%	142	39.9%	89	25.0%	87	24.4%	102	28.7%	91	25.6%	30	8.4%	
合計	1,354	558	41.2%	624	46.1%	594	43.9%	378	27.9%	783	57.8%	306	22.6%	68	5.0%	657	48.5%	485	35.8%	469	34.6%	673	49.7%	402	29.7%	138	10.2%	
被扶養者	70-74	6	1	16.7%	1	16.7%	1	16.7%	5	83.3%	0	0.0%	0	0.0%	5	83.3%	1	16.7%	1	16.7%	4	66.7%	1	16.7%	0	0.0%	0	0.0%
	65-69	20	7	35.0%	8	40.0%	8	40.0%	3	15.0%	10	50.0%	2	10.0%	0	0.0%	10	50.0%	7	35.0%	6	30.0%	13	65.0%	3	15.0%	2	10.0%
	60-64	22	6	27.3%	11	50.0%	11	50.0%	6	27.3%	14	63.6%	5	22.7%	1	4.5%	14	63.6%	9	40.9%	9	40.9%	16	72.7%	2	9.1%	1	4.5%
	55-59	29	12	41.4%	17	58.6%	14	48.3%	10	34.5%	22	75.9%	4	13.8%	1	3.4%	22	75.9%	14	48.3%	13	44.8%	8	27.6%	3	10.3%		
	50-54	17	2	11.8%	6	35.3%	6	35.3%	3	17.6%	10	58.8%	0	0.0%	0	0.0%	10	58.8%	3	17.6%	2	11.8%	2	11.8%	0	0.0%		
	45-49	31	1	3.4%	9	29.0%	9	29.0%	3	9.7%	13	41.9%	2	6.5%	1	3.2%	11	35.5%	5	16.1%	4	12.9%	1	3.2%	2	6.5%		
40-44	29	1	3.4%	5	17.2%	5	17.2%	2	6.9%	9	31.0%	0	0.0%	0	0.0%	9	31.0%	3	10.3%	3	10.3%	3	10.3%	3	10.3%			
合計	154	35	22.7%	55	35.7%	52	33.8%	28	18.2%	83	53.9%	13	8.4%	3	1.9%	81	52.6%	42	27.3%	39	25.3%	70	45.5%	26	16.9%	12	7.8%	
総計	1,508	593	39.3%	679	45.0%	646	42.8%	406	26.9%	866	57.4%	319	21.2%	71	4.7%	738	48.9%	527	34.9%	508	33.7%	743	49.3%	428	28.4%	150	9.9%	

リスク該当者数が健保連平均と差のあるところを強調しています。(P<0.05)
 該当率が高い場合が赤、低い場合が青で強調します。

本分析では、健診結果の各項目に関して、厚生労働省「標準的な健診・保健指導プログラム【改訂版】」等を参考に、保健指導判定値等を閾値とする基準を定め、リスク該当を判定し、集計しました。
 閾値ならびにリスク判定については 定義01「健診項目ごとのリスク判定の閾値一覧」および定義02「リスク判定基準」をご参照ください。

対象範囲：40歳以上、分析年度：2016年度、評価対象者数：健診結果の必要項目（必要項目0 1ご参照）に欠損のない人

4-4. 生活習慣病に関する対策効果に関する分析 (3) 高血圧の治療とその後の状態変化の経年分析

【高血圧症患者の定義と人数分布（加入者合計）】

図表81

《2015年度》

健診結果	判定	A (正常血圧)	B (正常高値血圧)	C (I度高血圧)	D 1 (II度高血圧)	D 2 (III度高血圧)	健診未受診 (含む健診値欠損)
	収縮期血圧	-129mmHg	130-139mmHg	140~159mmHg	160-179mmHg	180mmHg-	
	拡張期血圧	-84mmHg	85-89mmHg	90-99mmHg	100-109mmHg	110mmHg-	
高血圧症レセ無 *1		404	118	118	39	16	4,532
高血圧症レセ有 *2		54	29	52	19	12	233

高血圧症判定者

339人

高血圧症判定者
総計 572人

《2016年度》

健診結果	判定	A (正常血圧)	B (正常高値血圧)	C (I度高血圧)	D 1 (II度高血圧)	D 2 (III度高血圧)	健診未受診 (含む健診値欠損)
	収縮期血圧	-129mmHg	130-139mmHg	140~159mmHg	160-179mmHg	180mmHg-	
	拡張期血圧	-84mmHg	85-89mmHg	90-99mmHg	100-109mmHg	110mmHg-	
高血圧症レセ無 *1		399	120	117	31	11	4,493
高血圧症レセ有 *2		59	28	53	29	14	272

高血圧症判定者

342人

高血圧症判定者
総計 614人

*1高血圧症レセ無：健診受診者において、当該年度に薬剤または処置がある高血圧症のレセプトが1件も無い

*2高血圧症レセ有：健診受診者において、当該年度に薬剤または処置がある高血圧症のレセプトが1件以上ある

対象範囲：全年齢かつ血圧データが2014年度からの3年間そろう人。分析年度：2015年度～2016年度、疑い病名：含まない、歯科レセプト：含まない

4 - 5. 健康起因の企業リスクについて

(5) インフルエンザに関する分析

【インフルエンザの罹患状況（処置処方両方あり）】

図表111

処置処方両方あり

診療年度	予防接種データ	インフルエンザへの罹患 被保険者（人）	
		2016	× (なし)
なし	3,252		

診療年度	予防接種データ	インフルエンザへの罹患			
		被保険者（人）※		被扶養者の罹患有無別被保険者（人）※	
2016	× (なし)	あり	87	あり	40
				なし	47
		なし	1,041	あり	174
				なし	867

※被扶養者のいる被保険者における
インフルエンザへの罹患状況を示しています。

※被扶養者のインフルエンザへの罹患の
内訳（被保険者数）を示しています。

STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき 課題
1	ア, イ	<ul style="list-style-type: none"> ・新生物の医療費については男女共に占有率が高く、対策の優先順位の高い疾患となっている。がん検診等により早期発見することで医療費単価の抑制を検討したい。 	➔	<ul style="list-style-type: none"> ・各種がんの早期発見を強化するため、対象者別に検診受診を促していく。 	
2	カ	<ul style="list-style-type: none"> ・被保険者の罹患も目立つことから、事業主と関係した予防対策が求められる。 	➔	<ul style="list-style-type: none"> インフルエンザ予防接種の利用促進を図る。 家庭における日常的な予防取組を推進する。 	
3	ア, イ, ウ, エ, オ	<ul style="list-style-type: none"> ・メタボリックシンドロームに該当する者が多い。(該当率【15.6%】) ・血圧、血糖のリスク該当者が多い。 ・高血圧症では、受療によって症状をコントロールできる余地があるが、未受療者が多い。受療勧奨等の重症化予防について検討の余地がある。 	➔	<ul style="list-style-type: none"> ・各事業所との個別面談の場を活用し、事業主と共同で対応策を検討する。 機関紙やHP等による情報提供に加え、健康啓発セミナー等の開催を通じて、加入者のリテラシー向上を図る。 ・メタボリックシンドローム該当者が多い。リスク該当を低減するために、食生活の改善や体育奨励等の対策が求められる。 ・突然死の可能性を持つ被保険者も一定数を占めることから、生活習慣病については事業主と共同での対策が求められる。 ・高血圧症の未受療者に対して受療勧奨を行うことで、重症化防止を図る。 	

基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	<ul style="list-style-type: none"> ・女性比率が高く、若い女性が多い ・健保に医療専門職が不在 	➔	<ul style="list-style-type: none"> ・女性比率が多いため、女性臓器系の有病者率が高く、疾患対策が必要 ・事業主の産業医や保健師と提携して保健事業に取り組む

保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診実施率が全体的に低く、被扶養者が特に低い ・40歳未満の健診データは健保で保有していない ・事業主との連携があまり取れていない 	➔	<ul style="list-style-type: none"> ・被扶養者の特定健診受診率を向上させる取り組みを行う(案内を自宅へ送付、受診期間延長等) ・40歳未満の被保険者健診データは定期健診結果を確実にデータで受領する ・事業主との連携を取りながら保健事業を行う

STEP 3 保健事業の実施計画

事業全体の目的
1

事業全体の目標
1

事業の一覧

職場環境の整備

加入者への意識づけ

個別の事業

特定健康診査事業	特定健診受診（被保険者）
特定健康診査事業	特定健康診査（被扶養者）
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	禁煙外来補助
疾病予防	重症化予防
疾病予防	各種検診補助（人間ドック、脳ドック、心疾患ドック、がんPET検診）
疾病予防	乳がん健診
疾病予防	インフルエンザ予防接種
疾病予防	歯磨きセットの配布
疾病予防	家庭用常備薬斡旋
疾病予防	前期高齢者の訪問指導
体育奨励	体力づくり奨励費
直営保養所	直営保養所の運営
その他	コラボヘルス

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連															
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画																					
													平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			令和5年度														
アウトプット指標												アウトカム指標																						
職場環境の整備																																		
加入者への意識づけ																																		
個別の事業																																		
特定健康診査事業	3	既存(法定)	特定健診受診(被保険者)	全て	男女	40～74	被保険者	3	ケ,シ	-	ア,コ	-	-	-	-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> ・年度初に各事業所に健診実施を働きかけ、受診率の向上を図る。 ・各事業所より健診実施結果を受領する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度初に各事業所に健診実施を働きかけ、受診率の向上を図る。 ・各事業所より健診実施結果を受領する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度初に各事業所に健診実施を働きかけ、受診率の向上を図る。 ・各事業所より健診実施結果を受領する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度初に各事業所に健診実施を働きかけ、受診率の向上を図る。 ・各事業所より健診実施結果を受領する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度初に各事業所に健診実施を働きかけ、受診率の向上を図る。 ・各事業所より健診実施結果を受領する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度初に各事業所に健診実施を働きかけ、受診率の向上を図る。 ・各事業所より健診実施結果を受領する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度初に各事業所に健診実施を働きかけ、受診率の向上を図る。 ・各事業所より健診実施結果を受領する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・40歳以上被保険者の生活習慣病を中心とした健康状態の把握、健診受診率の向上。 	<ul style="list-style-type: none"> ・メタボリックシンドロームに該当する者が多い。(該当率【15.6%】) ・血圧、血糖のリスク該当者が多い。 ・高血圧症では、受療によって症状をコントロールできる余地があるが、未受領者が多い。受療勧奨等の重症化予防について検討の余地がある。 								
																		事業所に対して特定健診の受診について働きかけを行った割合(【実績値】90% 【目標値】平成30年度：100% 令和元年度：100% 令和2年度：100% 令和3年度：100% 令和4年度：100% 令和5年度：100%)-												健診実施率 【2016年度実績：88.9%】(【実績値】- 【目標値】平成30年度：90% 令和元年度：90% 令和2年度：90% 令和3年度：90% 令和4年度：90% 令和5年度：90%)-				
																		特定健康診査(被扶養者)	4	既存(法定)	特定健康診査(被扶養者)	全て	男女	40～74	被扶養者	1	ア,ケ	-	サ	-	-	-	-	-
事業所に対して特定健診の受診について働きかけを行った割合(【実績値】18.1% 【目標値】平成30年度：100% 令和元年度：100% 令和2年度：100% 令和3年度：100% 令和4年度：100% 令和5年度：100%)-												健診実施率(【実績値】- 【目標値】平成30年度：35% 令和元年度：35% 令和2年度：35% 令和3年度：35% 令和4年度：35% 令和5年度：35%)-																						
特定保健指導事業																																		
特定保健指導事業	4	既存(法定)	特定保健指導	全て	男女	40～74	基準該当者	3	ケ	-	ア,コ	-	-	-	-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> ・事業主と連携し、着実に特定保健指導を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業主と連携し、着実に特定保健指導を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業主と連携し、着実に特定保健指導を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業主と連携し、着実に特定保健指導を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業主と連携し、着実に特定保健指導を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業主と連携し、着実に特定保健指導を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病の予防強化に向けた保健指導実施率の向上。 	<ul style="list-style-type: none"> ・メタボリックシンドロームに該当する者が多い。(該当率【15.6%】) ・血圧、血糖のリスク該当者が多い。 ・高血圧症では、受療によって症状をコントロールできる余地があるが、未受領者が多い。受療勧奨等の重症化予防について検討の余地がある。 									
																		対象者への案内実施率(【実績値】0.0% 【目標値】平成30年度：100% 令和元年度：100% 令和2年度：100% 令和3年度：100% 令和4年度：100% 令和5年度：100%)-												実施率 【2016年度実績：3.9%】(【実績値】- 【目標値】平成30年度：10% 令和元年度：10% 令和2年度：10% 令和3年度：10% 令和4年度：10% 令和5年度：10%)-				
																		保健指導宣伝																
保健指導宣伝	8	既存	禁煙外来補助	全て	男女	18(上限なし)	被保険者	1	サ	-	ア,キ	-	-	-	-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所と一体となった喫煙対策の推進により、喫煙率の低下を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所と一体となった喫煙対策の推進により、喫煙率の低下を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所と一体となった喫煙対策の推進により、喫煙率の低下を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所と一体となった喫煙対策の推進により、喫煙率の低下を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所と一体となった喫煙対策の推進により、喫煙率の低下を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所と一体となった喫煙対策の推進により、喫煙率の低下を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所と一体となった喫煙対策の推進により、喫煙率の低下を図る。 ・卒煙達成(1年以上の禁煙)に向けた継続支援の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・メタボリックシンドロームに該当する者が多い。(該当率【15.6%】) ・血圧、血糖のリスク該当者が多い。 ・高血圧症では、受療によって症状をコントロールできる余地があるが、未受領者が多い。受療勧奨等の重症化予防について検討の余地がある。 									
																		被保険者に制度周知を行った事業所割合(【実績値】- 【目標値】平成30年度：100% 令和元年度：100% 令和2年度：100% 令和3年度：100% 令和4年度：100% 令和5年度：100%)-												喫煙率 【2016年度実績：20.1%】(【実績値】- 【目標値】平成30年度：25% 令和元年度：25% 令和2年度：25% 令和3年度：25% 令和4年度：25% 令和5年度：25%)-				

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			令和5年度
アウトプット指標												アウトカム指標								
疾病予防	6	既存	重症化予防	全て	男女	18～(上限なし)	被保険者	3	イ,ク	-	サ	-	高血圧または糖尿病で医療機関未受診者を洗い出し、文書にて受診勧奨を実施。	高血圧または糖尿病で医療機関未受診者を洗い出し、文書にて受診勧奨を実施。	高血圧または糖尿病で医療機関未受診者を洗い出し、文書にて受診勧奨を実施。	高血圧または糖尿病で医療機関未受診者を洗い出し、文書にて受診勧奨を実施。	高血圧または糖尿病で医療機関未受診者を洗い出し、文書にて受診勧奨を実施。	高血圧または糖尿病で医療機関未受診者を洗い出し、文書にて受診勧奨を実施。	高血圧症や糖尿病レベルの判定にも関わらず医療機関で受療していない方に対する受診勧奨の実施、受診率の向上。	・メタボリックシンドロームに該当する者が多い。(該当率【15.6%】) ・血圧、血糖のリスク該当者が多い。 ・高血圧症では、受療によって症状をコントロールできる余地があるが、未受領者が多い。受診勧奨等の重症化予防について検討の余地がある。
対象者への受診勧奨通知送付率(【実績値】 - 【目標値】 平成30年度：100% 令和元年度：100% 令和2年度：100% 令和3年度：100% 令和4年度：100% 令和5年度：100%)-												動奨実施年度内の受診率(各事業所別に目標設定)(【実績値】 - 【目標値】 平成30年度：100% 令和元年度：100% 令和2年度：100% 令和3年度：100% 令和4年度：100% 令和5年度：100%)-								
	3	既存	各種検診補助(人間ドック、脳ドック、心疾患ドック、がんPET検診)	全て	男女	18～74	被保険者,基準該当者,任意継続者	1	ケ,シ	-	ア	-	・加入者のセルフケア強化支援のため、法定(定期・特定健診)とは別に各種健診の受診をサポートする。 ・被保険者向けには、事業主から受診勧奨の働きかけを実施する。	・加入者のセルフケア強化支援のため、法定(定期・特定健診)とは別に各種健診の受診をサポートする。 ・被保険者向けには、事業主から受診勧奨の働きかけを実施する。	・加入者のセルフケア強化支援のため、法定(定期・特定健診)とは別に各種健診の受診をサポートする。 ・被保険者向けには、事業主から受診勧奨の働きかけを実施する。	・加入者のセルフケア強化支援のため、法定(定期・特定健診)とは別に各種健診の受診をサポートする。 ・被保険者向けには、事業主から受診勧奨の働きかけを実施する。	・加入者のセルフケア強化支援のため、法定(定期・特定健診)とは別に各種健診の受診をサポートする。 ・被保険者向けには、事業主から受診勧奨の働きかけを実施する。	・加入者のセルフケア強化支援のため、法定(定期・特定健診)とは別に各種健診の受診をサポートする。 ・被保険者向けには、事業主から受診勧奨の働きかけを実施する。	各種健診(人間ドック、脳ドック、心疾患ドック、がんPET検診)の受診率向上。	・新生物の医療費については男女共に占有率が高く、対策の優先順位の高い疾患となっている。がん検診等により早期発見することで医療費単価の抑制を検討したい。
対象者への案内実施率(【実績値】 626人 【目標値】 平成30年度：626人 令和元年度：626人 令和2年度：626人 令和3年度：626人 令和4年度：626人 令和5年度：626人)希望者に実施												受診率(人間ドック、脳ドック、心疾患ドックのいずれかの受診率)(【実績値】 40% 【目標値】 平成30年度：40% 令和元年度：40% 令和2年度：40% 令和3年度：40% 令和4年度：40% 令和5年度：40%)加入者の健康維持								
	3	既存	乳がん健診	全て	女性	18～74	被保険者,基準該当者,任意継続者	1	ウ,ケ	-	ア,コ	-	・加入者のセルフケア強化支援のため、法定(定期・特定健診)とは別に乳がん検診の受診をサポートする。 ・事業主から受診勧奨の働きかけを実施する。	・加入者のセルフケア強化支援のため、法定(定期・特定健診)とは別に乳がん検診の受診をサポートする。 ・事業主から受診勧奨の働きかけを実施する。	・加入者のセルフケア強化支援のため、法定(定期・特定健診)とは別に乳がん検診の受診をサポートする。 ・事業主から受診勧奨の働きかけを実施する。	・加入者のセルフケア強化支援のため、法定(定期・特定健診)とは別に乳がん検診の受診をサポートする。 ・事業主から受診勧奨の働きかけを実施する。	・加入者のセルフケア強化支援のため、法定(定期・特定健診)とは別に乳がん検診の受診をサポートする。 ・事業主から受診勧奨の働きかけを実施する。	・加入者のセルフケア強化支援のため、法定(定期・特定健診)とは別に乳がん検診の受診をサポートする。 ・事業主から受診勧奨の働きかけを実施する。	がんの早期発見、早期治療に向けて、乳がん検診の受診率の向上。	・新生物の医療費については男女共に占有率が高く、対策の優先順位の高い疾患となっている。がん検診等により早期発見することで医療費単価の抑制を検討したい。
対象者への案内実施率(【実績値】 739人 【目標値】 平成30年度：800人 令和元年度：800人 令和2年度：800人 令和3年度：800人 令和4年度：800人 令和5年度：800人)-												受診率(【実績値】 - 【目標値】 平成30年度：30% 令和元年度：30% 令和2年度：30% 令和3年度：30% 令和4年度：30% 令和5年度：30%)-								
	8	既存	インフルエンザ予防接種	全て	男女	18～74	被保険者,任意継続者	1	ケ	-	コ	-	事業主と連携し、被保険者にインフルエンザ予防接種を実施する。	事業主と連携し、被保険者にインフルエンザ予防接種を実施する。	事業主と連携し、被保険者にインフルエンザ予防接種を実施する。	事業主と連携し、被保険者にインフルエンザ予防接種を実施する。	事業主と連携し、被保険者にインフルエンザ予防接種を実施する。	事業主と連携し、被保険者にインフルエンザ予防接種を実施する。	インフルエンザの重症化予防のため、予防接種率の向上。	被保険者の罹患も目立つことから、事業主と連携した予防対策が求められる。
予防接種案内率(【実績値】 3,020人 【目標値】 平成30年度：3,050人 令和元年度：3,050人 令和2年度：3,050人 令和3年度：3,050人 令和4年度：3,050人 令和5年度：3,050人)-												接種率(【実績値】 80% 【目標値】 平成30年度：80% 令和元年度：80% 令和2年度：80% 令和3年度：80% 令和4年度：80% 令和5年度：80%)-								
	8	既存	歯磨きセットの配布	全て	男女	18～74	被保険者	1	ケ	-	サ	-	・加入者を対象に、歯磨きセットの配布を行う。 ・常備薬斡旋案内と併せて、歯磨きセットを配布。	・加入者を対象に、歯磨きセットの配布を行う。 ・常備薬斡旋案内と併せて、歯磨きセットを配布。	・加入者を対象に、歯磨きセットの配布を行う。 ・常備薬斡旋案内と併せて、歯磨きセットを配布。	・加入者を対象に、歯磨きセットの配布を行う。 ・常備薬斡旋案内と併せて、歯磨きセットを配布。	・加入者を対象に、歯磨きセットの配布を行う。 ・常備薬斡旋案内と併せて、歯磨きセットを配布。	・加入者を対象に、歯磨きセットの配布を行う。 ・常備薬斡旋案内と併せて、歯磨きセットを配布。	不要不急の医療機関受診を抑制に向けて、家庭用常備薬の利用促進。	・メタボリックシンドロームに該当する者が多い。(該当率【15.6%】) ・血圧、血糖のリスク該当者が多い。 ・高血圧症では、受療によって症状をコントロールできる余地があるが、未受領者が多い。受診勧奨等の重症化予防について検討の余地がある。
常備薬購入申込書配布率(【実績値】 - 【目標値】 平成30年度：100% 令和元年度：100% 令和2年度：100% 令和3年度：100% 令和4年度：100% 令和5年度：100%)-												回収率、アンケート(【実績値】 - 【目標値】 平成30年度：20% 令和元年度：20% 令和2年度：20% 令和3年度：20% 令和4年度：20% 令和5年度：20%)-								
	8	既存	家庭用常備薬斡旋	全て	男女	18～74	被保険者,任意継続者	1	ケ	-	サ	-	調剤費の適正化に向けたセルフメディケーションを推進するため、被保険者に年1回(秋)、家庭用常備薬の斡旋を行う。	調剤費の適正化に向けたセルフメディケーションを推進するため、被保険者に年1回(秋)、家庭用常備薬の斡旋を行う。	調剤費の適正化に向けたセルフメディケーションを推進するため、被保険者に年1回(秋)、家庭用常備薬の斡旋を行う。	調剤費の適正化に向けたセルフメディケーションを推進するため、被保険者に年1回(秋)、家庭用常備薬の斡旋を行う。	調剤費の適正化に向けたセルフメディケーションを推進するため、被保険者に年1回(秋)、家庭用常備薬の斡旋を行う。	調剤費の適正化に向けたセルフメディケーションを推進するため、被保険者に年1回(秋)、家庭用常備薬の斡旋を行う。	不要不急の医療機関受診を抑制に向けて、家庭用常備薬の利用促進。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
常備薬購入申込書配布率(【実績値】 3,581人 【目標値】 平成30年度：3,581人 令和元年度：3,581人 令和2年度：3,581人 令和3年度：3,581人 令和4年度：3,581人 令和5年度：3,581人)-												常備薬購入割合(【実績値】 - 【目標値】 平成30年度：3,750人 令和元年度：3,750人 令和2年度：3,750人 令和3年度：3,750人 令和4年度：3,750人 令和5年度：3,750人)加入者の健康維持								

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画						
													平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
アウトプット指標												アウトカム指標							
5	既存	前期高齢者の訪問指導	全て	男女	65～74	基準該当者	1	イ,オ,ク	-	ウ,キ	-	健保組合・医療機関・検診機関・事業所が連携しながら、前期高齢者の訪問指導面談（健康相談）を行い、重症化予防・健康増進の強化を図る。	健保組合・医療機関・検診機関・事業所が連携しながら、前期高齢者の訪問指導面談（健康相談）を行い、重症化予防・健康増進の強化を図る。	健保組合・医療機関・検診機関・事業所が連携しながら、前期高齢者の訪問指導面談（健康相談）を行い、重症化予防・健康増進の強化を図る。	健保組合・医療機関・検診機関・事業所が連携しながら、前期高齢者の訪問指導面談（健康相談）を行い、重症化予防・健康増進の強化を図る。	健保組合・医療機関・検診機関・事業所が連携しながら、前期高齢者の訪問指導面談（健康相談）を行い、重症化予防・健康増進の強化を図る。	健保組合・医療機関・検診機関・事業所が連携しながら、前期高齢者の訪問指導面談（健康相談）を行い、重症化予防・健康増進の強化を図る。	前期高齢者に対する訪問健康相談の実施し、重症化予防の保健指導の実施者数を増やす。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
対象者への案内実施率利用者数(【実績値】41人 【目標値】平成30年度：50人 令和元年度：50人 令和2年度：50人 令和3年度：50人 令和4年度：50人 令和5年度：50人)-												面談者数(【実績値】- 【目標値】平成30年度：50人 令和元年度：50人 令和2年度：50人 令和3年度：50人 令和4年度：50人 令和5年度：50人)-							
8	既存	体力づくり奨励費	全て	男女	18～74	被保険者	3	ケ	-	サ	-	各事業所に対して、健保組合が職場の体育行事費用を補助していることを改めて周知し、職場でのスポーツ実施働きかけを依頼する。	各事業所に対して、健保組合が職場の体育行事費用を補助していることを改めて周知し、職場でのスポーツ実施働きかけを依頼する。	各事業所に対して、健保組合が職場の体育行事費用を補助していることを改めて周知し、職場でのスポーツ実施働きかけを依頼する。	各事業所に対して、健保組合が職場の体育行事費用を補助していることを改めて周知し、職場でのスポーツ実施働きかけを依頼する。	各事業所に対して、健保組合が職場の体育行事費用を補助していることを改めて周知し、職場でのスポーツ実施働きかけを依頼する。	各事業所に対して、健保組合が職場の体育行事費用を補助していることを改めて周知し、職場でのスポーツ実施働きかけを依頼する。	各職場での体育行事の実施促進、被保険者の運動習慣定着。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
被保険者に対して制度周知を行った事業所割合(【実績値】54.3% 【目標値】平成30年度：100% 令和元年度：100% 令和2年度：100% 令和3年度：100% 令和4年度：100% 令和5年度：100%)-												延べ参加者数(【実績値】- 【目標値】平成30年度：3,700人 令和元年度：3,700人 令和2年度：3,700人 令和3年度：3,700人 令和4年度：3,700人 令和5年度：3,700人)-							
8	既存	直営保養所の運営	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ケ	-	ス	-	保養所の利用ができることを、機関紙等を使って加入者に情宣。	保養所の利用ができることを、機関紙等を使って加入者に情宣。	保養所の利用ができることを、機関紙等を使って加入者に情宣。	保養所の利用ができることを、機関紙等を使って加入者に情宣。	保養所の利用ができることを、機関紙等を使って加入者に情宣。	保養所の利用ができることを、機関紙等を使って加入者に情宣。	加入者の心身のリフレッシュ。家族や職場仲間との懇親の場の提供。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
年間情宣回数(【実績値】273回 【目標値】平成30年度：280回 令和元年度：280回 令和2年度：280回 令和3年度：280回 令和4年度：280回 令和5年度：280回)-												利用者数(【実績値】- 【目標値】平成30年度：250人 令和元年度：280人 令和2年度：280人 令和3年度：250人 令和4年度：250人 令和5年度：250人)-							
1	既存	コラボヘルス	全て	男女	18～(上限なし)	被保険者	3	ケ,シ	-	アイ	-	・健保組合と各事業所との面談会議を年1回以上開催する。 ・各事業所における健康課題を共有・論議し、健保組合事業への協力を働き掛ける。	・健保組合と各事業所との面談会議を年1回以上開催する。 ・各事業所における健康課題を共有・論議し、健保組合事業への協力を働き掛ける。	・健保組合と各事業所との面談会議を年1回以上開催する。 ・各事業所における健康課題を共有・論議し、健保組合事業への協力を働き掛ける。	・健保組合と各事業所との面談会議を年1回以上開催する。 ・各事業所における健康課題を共有・論議し、健保組合事業への協力を働き掛ける。	・健保組合と各事業所との面談会議を年1回以上開催する。 ・各事業所における健康課題を共有・論議し、健保組合事業への協力を働き掛ける。	・健保組合と各事業所との面談会議を年1回以上開催する。 ・各事業所における健康課題を共有・論議し、健保組合事業への協力を働き掛ける。	保健事業への連携・協力体制構築に向けた各事業所との会議の実施、健康課題の共有。	・メタボリックシンドロームに該当する者が多い。（該当率【15.6%】） ・血圧、血糖のリスク該当者が多い。 ・高血圧症では、受療によって症状をコントロールできる余地があるが、未受療者が多い。受療勧奨等の重症化予防について検討の余地がある。
事業所訪問を実施した割合(【実績値】- 【目標値】平成30年度：100% 令和元年度：100% 令和2年度：100% 令和3年度：100% 令和4年度：100% 令和5年度：100%)-												定量指標が設定できないため(アウトカムは設定されていません)							

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業
注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業
注3) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認(要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況) ウ. 受診状況の確認(がん検診・歯科健診の受診状況) エ. ICTの活用(情報作成又は情報提供でのICT活用など) オ. 専門職による対面での健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施
キ. 定量的な効果検証の実施 ク. 対象者の抽出(優先順位づけ、事業所の選定など) ケ. 参加の促進(選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備) コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 シ. 事業主と健康課題を共有 ス. その他
注4) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 専門職との連携体制の構築(産業医・産業保健師を除く) エ. 他の保険者との共同事業 オ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 カ. 自治体との連携体制の構築 キ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 ク. 保険者協議会との連携体制の構築
ケ. その他の団体との連携体制の構築 コ. 就業時間内も実施可(事業主と合意) サ. 運営マニュアルの整備(業務フローの整理) シ. 人材確保・教育(ケースカンファレンス/ライブラリーの設置) ス. その他